

騒がしかったセミの声も、夕方からの涼しげな虫の声に替わり、時折涼しい風が園庭を吹き抜け思わず「うわ～気持ちいい！」と叫びたくなるこの頃となりました。9月に入り、今まであまり外に出てこなかった子どもたちも、保育室でのコーナー遊びに満足した後、園庭へ出てきて思い思いの活動に取り組む姿が多くなっています。木陰やテントの下で、目を輝かせている子どもたちです。



子どもたちの遊びが充実してきています！

絵のコーナーでは・・・今「祖父母のお招きの会」への手紙に添える絵を思い思いの気持ちを色鉛筆を使って小さいスペースに描く経験をしました。「じ～じ、よろこんでくれるかな～?」「ば～ばはきてくれるかな～?」と日頃お世話してくれたり遠くにいるおじい様やおばあ様と園で過ごすことを楽しみにしながら、ていねいに描いていました。クレヨンとは違の色鉛筆の使い方に戸惑ったりしながらも「色を濃く塗るといいよ」などなど大きい子の絵を見ながら楽しく描いていました。これからも色々な素材に挑戦する機会を持っていきたいです。昨日、各コース毎にお招きのハガキを役場ポストへ投函しに行きました。



自然のコーナーでは・・・秋の草花を外のテーブルに飾り、一つ一つの草の名前を調べて、小さなガラスの入れ物にステキに飾っています。また園に実っている果物の名前と実物をかごに入れて飾ったコーナー等秋の季節の再発見が楽しく出来るようなコーナーで、子どもたちの興味



が育つように用意しています。園庭のテントの下では、畑で育った「洋種ヤマゴボウ」の紫色の実を漬して、ままごと遊びが盛んになっています。園内にある自然の植物を生かした遊びがこれからたくさん始まります。季節感や自然との出会いを通して、心のやさしさや自然に守られていることに感謝出来る子どもたちでありたいと願っています。

外あそびコーナーでは・・・ランチ前の時間にはコース毎に園庭の真ん中に出来たトラックを使って「かけっこ」が盛んになっています。ただ走るのではなく「自分な名前をいってからよ～い、どん!で走る」こと。「トラックに沿って走る」ことを年長児の姿を見ながら経験しています。そしてその姿をちゅうりっぷ・こすもす組の子どもたちが「がんばれ～」と応援しながら「走りたい」という気持ちが育ってきています。



すみれ組さん「三戸里園」へ訪問に出かけました・・・

本日、2学期最初の訪問として「三戸里」へ出かけました。園庭に咲いた秋の野草をアレンジした花かごを持って「うちのおじいちゃん、おばあちゃん」の歌を披露したり、一緒に手あそびをしたり合奏をしたりして楽しいふれあいのひと時を過ごしてきました。

